

平成22年1月8日

## 第22回 関東産業衛生技術部会・研修会のご案内

関東産業衛生技術部会部会長 田中茂（十文字学園女子大）

現在職場で使用されている化学物質は増加しており、労働安全衛生法（安衛法）に登録されている化学物質は約56,000物質を超え、平成17年以降毎年1200物質を超える新規登録が行われている。それに比較して、安衛法で取り扱い等に規制が及んでいる化学物質は約120物質であり、現実的には全ての有害な化学物質に規制をかけることは不可能であり、事業者が自主的なリスク評価を行ってリスク管理していくことが求められている。しかしながら、近年発生している職業病の半数が未規制の物質であること、中小企業では自主的な管理が不十分であることから、国もリスク評価を行い健康障害発生のリスクが高い作業等については法律で規制をかける等のリスク管理が求められている。このような状況で厚生労働省は平成17年に労働者の健康障害防止に係るリスク評価手法について報告を受け、平成18年より国によるリスク評価が開始された。

今回、国が行っているリスク評価に関して制度的位置づけ、その手法、実施体制等について解説し、作業現場での対応についてディスカッションを行う。

ぜひ、多くの方々に研修会へご参加いただきたくご案内申し上げます。

- 日時：平成22年2月22日（月） 13：00 から 16：30 （12時より受付開始）
- 場所：慶應義塾大学医学部 予防医学校舎3階 講堂（地図、参照）
- 定員：100名
- 参加費：1000円（資料代として）
- 参加申し込み：（学会員以外でも参加できます。当日参加も可能ですが、座席を用意したいため、参加希望者は前もってご連絡頂ければ幸いです。）

連絡先：田中茂(stanaka@jumonji-u.ac.jp TEL 09024604279)

### 【メインテーマ：化学物質のリスク評価について学ぶ】

13:00～14:30

リスク評価対象物質の選定法とその曝露評価の進め方について

名古屋俊士先生（産業衛生技術部会部会長・早稲田大学）

14:30 から 15:30

リスク評価対象物質の曝露評価の具体的な実施方法

棗田衆一郎先生（中央労働災害防止協会技術支援部化学物質管理支援センター）

15:30から16:10

病院に於ける化学物質管理の現状

岩崎毅先生（興研労働衛生コンサルタント事務所）

16:10から16:30

ディスカッション及び質疑応答

以 上

慶應義塾大学医学部 予防校舎3階 講堂  
 住所：東京都新宿区信濃町35

